

第 30 回情報処理センター等担当者技術研究会の報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班

松岡 大夢

1. はじめに

国立大学、公立大学等にて情報系センター等に勤務する技術職員が集まる本研究会は、大学における情報システムおよびネットワーク基盤の管理・運用に関する問題点や解決策を議論、共有することができる数少ない機会である。新しい技術を習得し、業務に取り入れ業務の効率化を図るとともに、他大学等の技術職員との繋がりを作るため、本研究会に参加した。

2. 期間・場所

期間：平成 30 年 9 月 6 日、7 日

場所：国立大学法人 徳島大学 常三島キャンパス

3. 参加者等

国立大学、公立大学等、あわせて 49 機関より 69 名が参加した。

4. 研修内容

現状報告・研究発表・ポスター発表 20 件を聴講して、各大学等の情報処理センターが行っている取組みの状況や課題、その対策方法を学んだ。また、徳島大学情報センター 佐野雅彦准教授による特別講演「情報センターのこれまでとこれから」を聴講した。研究会の最後に行われた意見

交換会では、情報処理センターに勤務する技術職員が抱えている問題や課題、その対応策について活発な議論が交わされた。発表では聞けない各大学等の実態も聴くことができた。

また、研究会終了後にはオプションとして行われた「施設見学会」に参加した。

5. まとめと感想

発表全体を通して、「情報セキュリティ」や「システム更新での課題と運用」といった内容が多かったように思う。中でも PC 教室の端末リプレースについて、本学では平成 27 年度から始まったノートパソコン必携化に伴い、端末台数を削減しているが、今後も維持していく機関が多いように感じた。本学でも一部の端末室は今年度中にリプレースが決まっているので、参考になる点は内部で共有し対応していきたい。

施設見学会では、徳島大学の情報センターの見学を行い、設備管理の方法や業務環境について知ることができた。

本研究会で学んだ知識を今後の業務に活かしていきたい。